

2011年8月31日

基礎化粧品ブランド「ikitel」の化粧箱が  
「2011 日本パッケージングコンテスト」において  
「化粧品包装部門賞」を受賞

株式会社ヤクルト本社（社長 根岸 孝成）は、基礎化粧品ブランド「ikitel」の共通1個箱で、「2011 日本パッケージングコンテスト」（主催：社団法人日本包装技術協会）において「化粧品包装部門賞」を受賞しました。

「ikitel」シリーズは、2010年9月に発売したインターネット通販専用の基礎化粧品ブランドです。「『ikitel』シリーズ共通1個箱」は、環境に配慮し、箱および中枠の構造や使用素材を工夫したことで、4種類の異なる形状の容器を安定して収納できる化粧箱です。全てリサイクル可能な素材を使用していることや、素材の風合いを活かし、エコ感・ナチュラル感を表現したデザインも好評を得ています。

日本パッケージングコンテストは、時代と社会の要請に対応した、生活文化に優れたパッケージおよびその技術の開発普及に資することを目的とし、日本パッケージ技術の年間の優秀作品を選定するものです。材料、設計、技術、デザイン、ロジスティクス、販売促進、アイデア、環境対応、適正包装等あらゆる項目から評価します。

今回のコンテストでは、328件の応募のなかから、年間の優秀作品として、ジャパンスター賞（13賞）、包装技術賞（6賞）、包装部門賞（11賞）が決定しました。その中で当社の「『ikitel』シリーズ共通1個箱」は、“通信販売というチャンネルに適し、かつ環境に配慮した仕様を採用した点”が高く評価され、「化粧品包装部門賞」を受賞しました。



なお、「『ikitel』シリーズ共通1個箱」の特長と「ikitel」シリーズの商品概要は以下のとおりです。

＜「『ikitel』シリーズ共通1個箱」の特長＞

1. 商品コンセプトと合わせ、シンプルで無駄のないパッケージを追求しました。デザインも素材の風合いを活かし、エコ感・ナチュラル感を表現しました。
2. 4種類の異なる形状の容器（クレンジング・ウォッシング・ローション・エッセンス）が、すべてひとつの共通箱に収容できるよう中枠を開発しました。また、中枠に不織布を貼り合わせることで、輸送振動による容器への傷付き防止など保護性を高めました。
3. 共通1個箱・中枠とも、段ボール・紙パルプ素材のみで開発したことにより、段ボールとしてリサイクル可能です。

## <「ikitel」シリーズの商品概要>

### (1) ネーミング

「ikitel（イキテル）」は、女性にイキイキと暮らしてほしい、イキイキと働いてほしい、一日一日を、人生のすべてを楽しんで欲しいという願いを込め、「生きてる」と「活きてる」の両方の意味を持つ動詞をブランド名としています。また、つくりたてのコスメという意味も込められています。

ikitel



### (2) シリーズ特長

- ① 当社オリジナルの保湿成分である、乳酸菌はっ酵エキス（ミルク）、ビフィズス菌はっ酵エキス（大豆）、高分子ヒアルロン酸に加え、「富士山の地下水」を配合しています。
- ② 数種の植物エキス（オクラエキス、マヨナラエキス、ボタンピエキス、マロニエエキス）を配合しています。
- ③ パラベンフリー、無香料・無着色、弱酸性です。
- ④ 注文を受けてから生産する「完全注文生産システム」を導入することで、つくりたての商品をお届けします。  
※サイト画面において製造日を告知し、商品には製造年月日を記載します。
- ⑤ 「水」をイメージした透明かつ、シンプルでスタイリッシュなボトルデザインです。また、環境に配慮し、配送用梱包資材が不要になるような1個箱（段ボール、再生紙）を使用しています。

日本パッケージングコンテストや賞の概要については、[日本包装技術協会ホームページ](#)を参照してください。

以上